

九州建設コン

新支部長に穂山氏 防災シンポなど計画

建設コンサルタンツ協会九州支部は22日、福岡市内のホテルで2025年度定時総会を開いた。任期満了に伴う役



員改選では新支部長に西日本技術開発の穂山泰治社長を選出した。写真。穂山新支部長は、近年の自然災害の頻発化やインフラ施設の老朽化に触れ、「われわれ建設コンサルタントはこうした社会課題の解決に貢献する必要がある。そのためには会員各社が技術力の向上に努めなければならない」と呼び掛けた。25年度運営方針は、建設コ

ンサルタンの魅力向上に向けた総合的な環境整備、技術力と品質の確保・向上、広報活動の強化、社会貢献活動の推進などに取り組む。

事業計画では、九州地方整備局などとの意見交換や九州建設技術フォーラム、防災シンポジウム、土木を学ぶ学生を対象にした広報イベント「土木遺産な旅」、社会貢献活動の一環となる夢アイディアなどの開催を計画している。

役員改選では、支部長のほか、新支部長の栄徳洋平氏（福山コンサルタンツ社長）、森藤敏一氏（建設技術研究所常務執行役員九州支社長）らの新任を決めた。